

理数科通信

岩手県立水沢高等学校
第11号 令和4年12月15日 発行

第45回日本分子生物学会・高校生ポスター発表

12月2日(金)、千葉県の幕張メッセで開催された第45回日本分子生物学会・高校生ポスター発表に2年理数科酵素班の岩淵莉々さん、吉田優羽さん、ハス班の遠藤奨さん、生形璃央菜さん、小澤春樹さんの5名が参加しました。高校生の発表件数は45件で、岩手県から参加したのは本校だけでした。

発表は2つのグループに分かれ、各グループが1時間の発表を行いました。1時間という短い時間でしたが、多くの大学の先生に発表を聞いていただき、アドバイスを頂戴することができました。



看板と同じデザインの法被を着てみました



酵素班の岩淵さんと吉田さん



ハス班の小澤さん、遠藤さん、生形さん



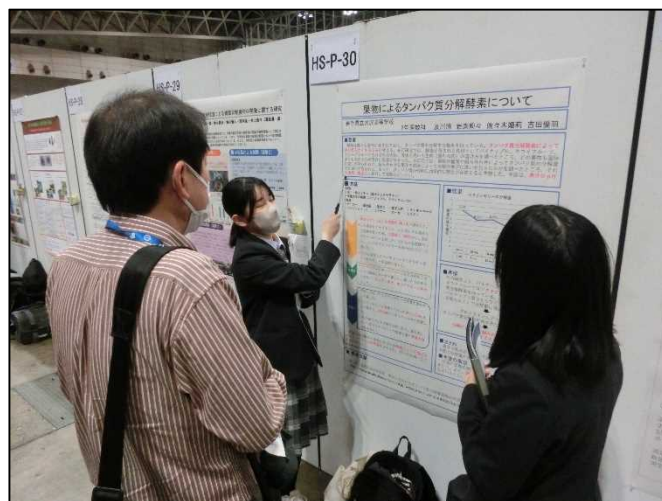
会場全体の様子



高校生の発表ブース

【参加した生徒の感想】

今回の発表会を通して、自分たちの班で行っている研究に対する関心がより深まりました。普段実験を行うときは、自分たちでより良い方法を考えたり工夫したりするため、見方が一方向になる場合が多くなっていました。他の研究を見て、新たな実験方法を知り、たくさんの方々からアドバイスをいただきました。様々な方々と交流を深めることが出来てとても楽しかったです。班員と情報を共有しより良い研究に繋げていきたいです。



酵素班の発表の様子

今回の発表を通して、自分より知識や経験がずっと豊富な方々からアドバイスをいただくことができました。今まで私たちが行ってきた研究を客観的にとらえることができ、不足していることや実験方法を間違えているところを見つけることができました。また、新しい知識も増え、研究に生かすことができる情報を蓄えることができました。今回の発表で得られたことを、参加できなかった仲間にも伝え、話し合い、考えを深めるきっかけにもなった。今回の経験を今後の研究に役立てていきたい。

日本分子生物学会に参加し、大学生や大学院生、大学教授の方々から専門的なアドバイスや意見を多く頂くことができました。他にもゲノム解析や難病、細胞の最新の研究に関する発表が多くあり、知識を深めることができました。企業が展示していた機器の中には最先端のものが多くあった。発表をして気づいたことや頂いた助言、企業の展示から得られた知見をもとに課題研究を進めていこうと思いました。



ハス班の発表の様子

今回の発表は、ポスター形式の発表で今までとは違う方法でしたが、ポスター制作を含め全体的にうまくいったと思いました。しかし、ポスターに記載するこれまでの研究結果をまとめることがあまりうまくできなかったため、これから改善していこうと思いました。様々な大学の先生方や学生の方々に聞いていただき、助言を多くいただいたので、それらを参考に今後の研究を進めていきたいと思いました。

今回の研修では特に相手に説明する力とコミュニケーション能力が身についたと思いました。色々な大学の先生方や大学生と話していくうちに今後の課題や方向性、また別の視点からの発見が思っていたよりも多く見付き、今後の研究活動に役立つ情報や考え方を持つことができました。ポスター発表をすること自体が楽しかったし、得られたものが大きい良い経験、発表会でした。